会議録

会議の名称	和泉市環境審議会（令和元年度第１回）
開催日時	令和元年 10 月３日　14:05～15:55
開催場所	和泉市コミュニティセンター１階　大集会室
出席者	増田会長・巖副会長（専門部会長）・浅井副会長・竹歳委員 藤田委員（専門部会委員）・竹中委員・藤森委員・大谷委員 山本委員・河合委員・辻林委員・石井委員 橋本恵委員（専門部会委員）・梁取委員（専門部会委員） 橋本隆次委員（専門部会委員）・辻委員（専門部会委員） 稲井委員（専門部会委員） （以上 17 名　順不同）
事務局	環境保全課
会議形態	公開
会議の議題	■議事 (1) 副会長の選出について (2) 第２次和泉市環境基本計画の進捗状況について（報告） (3) 第３次和泉市環境基本計画について（報告） (4) その他
会議の要旨	○浅井委員が委員並びに副会長に就任した。 ○第２次和泉市環境基本計画の進捗状況について、概要の説明等を行った。 ○第３次和泉市環境基本計画の策定方針（案）について概要の説明等を行った。 ○上記計画策定に係る、市民・事業者意識調査について説明等を行った。
会議録の作成方法	□全文記録 ☑要点記録
記録内容の確認方法	☑会議の議長の確認を得ている □出席した構成員全員の確認を得ている □その他（　　）
議事要旨 【主な意見等】	1.　委員の交代と委嘱状の交付について 【事務局】 「和泉市環境基本条例」第 21 条第５項に基づき、「委嘱状」を交付させていただきます。

	委嘱状の交付があり、退任された池辺委員に代わって浅井委員が委員に就任した。 2.　議事 (1) 副会長の選出について 【会長】 　副会長の選出について、事務局より内容のご説明をお願いします。 【事務局】 　和泉市環境審議会規則第３条第１項において、本審議会の副会長は２人を置くことと規定されております。昨年度まで副会長にご就任いただいていた池辺様がご退任されたので、新たに副会長を選出する必要があります。 　また、同規則において副会長は委員の互選により定めると規定されているので、この場において委員の皆様に新たに副会長を選出いただきたいと考えておりますが、いかがいたしましょうか。 【委員】 　議長である増田会長のご意見をお伺いしたいと思います。 【会長】 　ご提案させていただきます。副会長には、これまでの経緯をふまえ、池辺様のご後任として新たにご就任いただいた、浅井様が適任だと思います。委員の皆様、いかがでしょうか。 【委員一同】 　異議なし。 【会長】 　異議なしとのお声をいただいたので、副会長には浅井様にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。浅井副会長より、一言ご挨拶いただきたいと思います。 【浅井副会長】 　副会長という重責を賜りました。わからないこともあるかとは

	思いますが、皆様のご協力をいただきながら、がんばっていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。 (2) 第2次和泉市環境基本計画の進捗状況について（報告） 【事務局：説明概要】 平成 30 年度分の第２次環境基本計画の進捗状況についてご説明する。まず、全 55 項目全体の進捗状況を見ると、B（未実施）が 7 件から 8 件に増加している。新たに該当するのは「保安林地域の拡大面積」である。 次に、平成 29 年度から平成 30 年度への達成度の変化を見る。達成度１（高いレベルで達成）が４件減、達成度２（概ね達成）が４件増、達成度３（一部達成）が１件減、達成度４（実績なし）が１件増である。達成度が下がった項目や、実績がない項目のうち主なものとしては、「集団回収登録団体数」や、「テクノステージ工場間の連携を通じた省エネルギー化への取組を促進」、「ため池を訪れた人たちに快適と安全を提供すべく処置を施されたため池の数」、「植樹帯の延長」、「ポケットパークの整備箇所数」、「天然記念物に指定された樹木の数」といった項目がある。 また、見直し作業が必要な項目について、今後具体的にどういった文言を記載し、目標値を設定するかについては、関係各課、各室にヒアリングを行い、和泉市環境基本計画専門部会で審議いただく予定である。 【委員】 「集団回収登録団体数」について、達成度１（高いレベルで達成）から達成度２（おおむね達成）になっているが、具体的にどれだけ団体数が変わったのでしょうか。 【事務局】 255 団体から 254 団体に減っています。 【委員】 そうであれば、達成度１のままでも良いように思います。 【竹中委員】 ため池の改修工事費の内 12.5%が管理者負担のため、ため池の

	改修が進んでいないとのことですが、今後負担を下げる予定はあるのでしょうか。 【事務局】 現在ため池は339箇所ありますが、概ね改修できています。ただ、今後農地が減っていくなか、339箇所すべて必要かどうかは、水利組合でも確認しているところです。もしすべての箇所について改修するとなると、それなりの地元負担も発生するので、今後の動向やあり方については、府の関係機関とも調整を図っています。 【会長】 昨年の豪雨でため池が決壊したことから、府が調査を進めています。今後、防災対策的な観点から改修が進むかもしれません。それを第３次計画のなかでどういう形で反映させていくか、ご検討いただけたらと思います。 【委員】 平成30年度に市内で計測した水質の結果について、平成29年度に比べて指標が悪化していますが、これはたまたまなのでしょうか。以前同じ質問をした際には、雨が降った時にたまたま調査をすると、水質の指標が悪くなることや、今後場所を見直すということを伺いました。場所の見直しするだけで偶然の要素は除かれるのでしょうか。また、測定回数も少ないので、イレギュラーの値を取り除くために75%値の使用を検討されてはいかがでしょうか。 【事務局】 環境保全課が所管する市内５地点と、水道部が所属する数地点において、１年に４回水質測定をしており、達成度としてBODを確認しています。この測定において、４つの数値の中で第３位の数値（75％値）を使っています。また、地点は変えておらず、なるべく雨の時などを避けて通常時の水を測定しています。ただ、水量が減っていることから水質が悪化しています。

	【会長】 全体的には、平成30年度の結果は平成29年度と比べてそれほど大きな変化があったわけではないと思います。第３次計画では何点か見直すものもあれば、継続するものもあると思います。ありがとうございました。 (3) 第3次和泉市環境基本計画について（報告） 【事務局：説明概要】 〇スケジュール 基本的には、具体的な内容を専門部会で審議し、その結果を審議会で報告する、といった形を今後も繰り返すこととなる。また、各課へのヒアリング等も順次開催していく。令和元年度中に、アンケートの実施及び骨子案の作成を行う。令和２年度には、骨子案の再検討及びパブリックコメントの実施、諮問答申を経て計画の策定、という流れを考えている。 具体的な予定としては、10月16日に庁内調整会議を開催し、以後順次、庁内のヒアリングをしていく。10月末頃にはアンケートを実施し、その結果は来年１月 23 日の第２回専門部会、２月の第２回審議会で報告する。また、来年度第１回の専門部会は６月頃、第１回審議会は７月頃に開催予定である。その後、議会への報告を経て、パブリックコメントを実施し、年度末の策定に向けて作業を進めていく。 〇策定方針（案） 基本的な考え方としては、第２次計画の内容を引き継ぎつつ、SDGsや気候変動による影響、プラスチック問題、食品ロス、グリーンインフラ等の新たな内容を盛り込んでいきたい。また、行政だけでなく、市民・事業者の行動も後押しするような計画としたい。また、類似した取組や情報量を整理・統合することで、市民・事業者と共有しやすい計画としたい。 基本目標と進行管理について、毎年「和泉市の環境」という報告書を作成して進捗状況を報告したい。また、目標は総合計画や関連する計画との整合を図ることで、進行管理しやすい計画とする。 本計画の位置づけと役割については、国の環境計画や市の総合計画等の上位計画と連携しつつ、環境行政を総合的・計画的に定

	めるものとなる。専門部会の後に、関連する個別計画の一つとして緑の基本計画を追記している。 計画の期間は、2021 年度から 2030 年度までとする。ただし、概ね計画策定後５年を目途として、計画の見直し、更新を行う。また、長期的な目標時期は 2050 年とする。 計画の対象について、第２次計画からの変更点として土壌汚染や気候変動といった環境要素の項目を追記する予定である。ただし、それらの項目は第２次計画には明記されていなかっただけで、関連する行動目標は第２次計画にも記載されている。また、専門部会後の変更点として、対象とする環境要素を「脱炭素・気候変動への対応」、「資源循環」、「自然共生」、「安全で良好な歴史的・文化的な環境」の４つに大きく分けている。 計画の全体構成は、第２次計画と大きくは変わらず、そこに肉付けしていくイメージである。ただし、第２次計画では基礎データを前の方に配置していたが、計画の本体に入るまでが長くなってしまっているので、巻末に参考資料のような形で掲載することも検討している。 また、第２次計画における行動目標については、達成できていないものやすでに廃止されているもの等があるので、関係各課や調査機関とも相談しながら再検討を進めていきたい。 〇アンケート スケジュールとしては、10 月下旬からアンケート調査を実施し、12 月末までに回収、集計作業を行う。来年１月の第２回専門部会で結果を報告するが、すべての集計が完了しておらず速報という形での報告になるという可能性がある。 アンケートの実施目的は、これまでの環境政策の効果の検証及び、今後の環境政策の方向性、重要分野、実行手段等を検討することである。 調査票の作成方針は、過去のアンケートと経年比較ができること、近年注目されている分野についても設問を入れること、回答率を挙げるために回答しやすいアンケートとすることである。 アンケートの実施方法について、対象は市民 2,000 名と事業者 200 社とする。回答率を上げるため、回答の宛先は和泉市宛てとする。なお、回答率は３割から４割ほどを想定している。 市民アンケートの内容について、前回からの変更点としてはま

	ず、新規に設定もしくは大きく変更した設問がある。具体的には、気候変動の影響に関する設問、SDGs に関する設問、生態系サービスに関する設問を追加している。また、環境に関する取組みの実行状況についての設問において、「実行するつもりはない」と答えた回答者に、実行しない理由を尋ねる設問を追加している。また、市による環境関連の活動に関する設問に、具体例を挙げ、写真を追加している。また、市の環境施策について尋ねる設問において、優先度を記入してもらうようにしている。次の変更点として、全体のボリューム調整等のため、重複する設問等について削除している。その他の変更点として、属性に関する設問の場所の変更や、近年関心の高い項目の選択肢への追加等を行っている。 　事業者向けアンケートについて、前回からの変更点としてはまず、新規に設定もしくは大きく変更した設問がある。具体的に、環境や SDGs の経営における位置づけについて尋ねる設問や、気候変動について尋ねる設問、生態系サービスについて尋ねる設問を追加している。また、環境に関する関心を問う設問を、重要と考える分野を問う設問へと変更している。次の変更点として、市民アンケートと同様に、全体ボリューム調整等のために、重複する設問等の削除をしている。その他の変更点として、一部の設問を国の調査と比較できるよう、設問や回答欄等を国の調査と合わせている。 ○令和元年度第１回専門部会　会議録 　令和元年度第１回専門部会の会議録については、部会長にご確認いただいたうえで、既に市の HP で公表している。 【会長】 　専門部会長からはなにか補足はありますでしょうか。 【巖副会長】 　特にありません。 【委員】 　市民アンケートの問５で、関心のある環境問題を尋ねていますが、選択肢１の「地球温暖化」と選択肢２の「気候変動の影響」、また選択肢 9 の「ごみの減量とリサイクル」と選択肢 10 の「廃

	棄物処理や不法投棄」は似たような内容ではないでしょうか。 【事務局】 ご指摘を踏まえて、検討いたします。 【会長】 地球温暖化と気候変動の影響については、一般市民がほぼ同じようにとらえているなら、どちらか１つにしてもいいかもしれません。一方で、違う感覚でとらえているなら残した方が良いかと思います。２つの言葉には、市民の捉え方の違いがあると思います。 【事務局】 地球温暖化は以前からある大きな概念の一方、気候変動は台風等、市民生活へ直接影響がある問題というイメージですが、どちらも絡み合っている問題です。もう一度精査したいと思います。 【会長】 感覚としては、地球温暖化はマクロに問題を捉えている一方、気候変動の影響はもう少しミクロに、異常気象や台風の勢力拡大といったような問題で捉えるイメージです。精査していただければと思います。 【委員】 事業者アンケートの問 16 では生態系サービスで大切に思うことを尋ねていますが、全体的な内容がわかりにくく、特に選択肢４の「自然に守られている暮らし」はイメージしにくい表現ではないでしょうか。また、具体的な体験を記入する欄がありますが、どういったことを回答するべきか難しいのではないでしょうか。 【会長】 「自然に守られている暮らし」は防災などの基盤、といったようなことですが、それ以外の選択肢とはやや論調が違うような気がします。また、具体的な活動の部分については回答者が答えにくいかもしれません。他の項目との連動もご確認いただければと思います。

	【事務局】 表現についてはまた検討し、修正させていただければと思います。 【委員】 市民向けアンケートの問 11 で環境に配慮した行動について尋ねていますが、「実行しているかどうか」と「実行するつもりがあるかどうか」という２つの要素が選択肢に含まれています。分けて尋ねたほうが良いように感じます。 また、問 12 では環境に関する取り組みについて尋ねていますが、「内容や時間をみて考えたい」という選択肢があります。これは、「内容に興味はあるが時間による場合」、「時間はあるが内容による場合」、「内容と時間による場合」の、３種類が含まれていると思います。これは分けなくてもよいでしょうか。一度、ご検討いただければと思います。 【会長】 問 11 については、違う性質の選択肢があることで、分析が難しくなるかと思います。「実行しているかどうか」をまず尋ねたうえで、実行していない回答者に対して今後の意識について尋ねる、という２段階の聞き方もあるかもしれません。また、問 12 についても同じく、まず「参加しているかどうか」を尋ね、参加していないという人に対して今後の意識を尋ねる、という形もあるかと思います。 【事務局】 それぞれの要素を分けて尋ねるような質問について、ご指摘の点を踏まえて検討したいと思います。 【委員】 市民向けアンケートの問５で関心のある環境問題を尋ねていますが、選択肢 11「プラスチックに関する問題（海洋プラスチックの問題等）」とあります。この書き方だと、大きいプラスチックゴミが想像されてしまい、マイクロプラスチックは想像されにくいのではないでしょうか。また、昨今の研究では、海洋のマイクロプラスチックよりも、大気中から吸い込むマイクロプラスチ

	ックの方が、人間の健康に悪影響を与えることが言われております。海洋プラスチックという表現ではなく、マイクロプラスチックという表現とはできないでしょうか。 【事務局】 ご指摘の点を踏まえて検討させていただきます。 【会長】 事業者向けアンケートの対象が、「事業所の代表者（あるいは環境担当者、総務担当者の方）」とありますが、誰が回答するかによって回答の傾向は変わってきます。例えば環境担当者であれば、環境問題に対する意識も高いと想定されます。一方で、事業者に動いてもらうためには、代表者の意向が大切なので、代表者の意向が反映されたアンケートの方が重要だと思います。 【事務局】 回答対象者は第２次計画の際と同じにしております。実際には、担当者が回答した内容を、代表者がどこまで理解しているのか、といった問題は起きると思います。理想的には専門の人が回答し、内部決裁を取っていただく形ですが、実際は難しいとは思います。アンケートを回答していただくという立場なので、その点についてどこまで踏み込めるかは難しいところもあるかと思います。 【会長】 例えば SDGs について、どのレベルの人が回答するかによって認識はかなり違うと思います。そういった点もご検討いただきたいと思います。ちなみに、農業政策に関連して行うアンケートでは、一家で農業従事者、その奥さん、後継ぎの可能性のある人の３名から回答してもらうこともあります。 【委員】 市民向けアンケートについて、問 19 で職業を尋ねていますが、自営業について選択肢 1「自営業（農業・漁業・林業）」と選択肢 2「自営業（左記以外）」と分かれています。なぜ分けたのでしょうか。また、市内の農林漁業者は、兼業の人が多いのではないで

	しょうか。 【事務局】 　こちらの分類は前回のアンケートと同様で、前回との比較のためにこのようにしています。 　前回、自営業を２つに分けているのは、環境に関連の深い農林漁業者とそれ以外、という分類をすることを目的としていたと思います。ただ、時代の変化もあるので、分けて検討の必要があるのか、兼業農家の話も含めて改めて検討したいと思います。 【会長】 　事業者向けアンケートについて、事業者全体としての意見なのか、それとも環境部署の意見なのかわかるように、事業者の属性を尋ねる設問のあとに回答者を尋ねる設問を設ける方法もあるかと思います。 【委員】 　市民向けアンケートの問９で、自然とのふれ合いに関して各項目の頻度を尋ねていますが、「公園の散歩」という項目と「川や池の散歩」という項目は分ける必要はありますでしょうか。また、分けるとしても分け方があまり明確ではないように思います。 　また、項目番号の４番が抜けています。また、「山へのハイキング、キャンプ」という項目がありますが、項目の書き方の表現を統一していただきたいと思います。 　また、「農作業（体験含む）、家庭菜園」、「庭やベランダで植木や草木花を育てる」という項目について、具体的なところとそうでない部分が混在していると思います。それから、そういった項目について頻度は答えにくいのではないでしょうか。 　どういった項目出しをすればいいか、ご検討いただきたいと思います。 【会長】 　貴重なご意見をいただいておりますので、前回のアンケートとの比較ができることを前提にしつつ、再整理していただければと思います。

	(4) その他 【会長】 全体を通じて、何かありますでしょうか。 【事務局】 次回の環境審議会の日程について、２月 17 日が一つの候補ではありますが、別途調整させていただければと思います。 【会長】 その他に、何か質問等はありますでしょうか。 【委員】 市はどのように環境に関する情報提供をされているのでしょうか。また、もし情報提供が漠然としているのであれば、エコバッグがどれくらい使われているか、クリーン購入についての情報を提供してはと思いますが、いかがでしょうか。 【事務局】 広報誌に特集ページがあります。また、和泉市の環境という冊子を作り、HP に載せています。１年遅れの情報ではありますが、大気や水質といったことについて掲載されています。他に、ゴミについては和泉市の清掃概要という資料を毎年作成して HP で公開しており、市のゴミに関する取組みなどを紹介しています。また、毎月広報誌の裏でゴミの減量率等がわかるように報告しています。 【委員】 参考資料２の、温室効果ガスのデータについて、最新年度が平成 27 年度になっているのはなぜでしょうか。 【事務局】 参照先の地域 E-CO_2 ライブラリーで公開されている最新のデータのためです。今後、温室効果ガスのデータについても更新することになります。

	【事務局】 　和泉市の環境にも温室効果ガスについてのデータがあるので、そのデータで差し替えるようなイメージでおります。 【会長】 　現状の記載だと、和泉市の温室効果ガスのデータだと誤解されかねないので、誤解のないような記載にしていただければと思います。 【会長】 　他にご意見等はございませんか。それでは、進行を司会の方にお返しいたします。 【事務局】 　これをもって、令和元年度第１回和泉市環境審議会を閉会させていただきます。委員の皆様方には、長時間ありがとうございました。 以上